

## 本市のシティプロモーションについて

後関 俊一 議員

魅力発信のターゲットを決めていますか。

魅力を分かりやすく伝えるため、統一コンセプトを「育つまち鎌ヶ谷」、キャッチコピーを「やがて故郷に変わる街鎌ヶ谷」と定め、子育て世

代や共働き世代を中心とした若者世代の人口流入を重点的なターゲットとして位置づけ情報発信を行っています。

市民が進んで市の魅力を発信したくなる仕組みはありますか。

## 鎌ヶ谷市の情報発信について

森谷 宏 議員

高齢者への情報発信について発信内容が届くための方策を伺います。

高齢者のスマホ保有率が年々上昇し、利用も広がっている状況を踏まえ、引き続きLINEなどのソーシャルメ

ディアを活用するとともに、高齢者にも分かりやすい表現などに留意し、情報発信に取り組んでいきます。

高齢者にも利用しやすいLINEと連携したコンテンツづくりについて伺います。

## 都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線について

佐藤 剛 議員

現在でも交通事故が多い市道34号線と市道37号線の交差点は、国道404号栗野バイパスの整備が完了し、バイパス線の交通量が増加するとさらに危険になるため、信号機設置に対する見解を伺います。

丸山三丁目交差点の右折信号機設置に対する見解を伺います。

## 北初富駅周辺の整備状況について

伊福 幸一 議員

北初富ほほえみ公園に対する市民からの要望について見解を伺います。

初めに、トイレの設置については、簡易的な施設の設置も含め検討します。次に、公園と市道1514号線との交差点の安全対策については注意喚起を促す路面標示等の設置を所管の警察署等と連携しながら検討します。また、日除け設備の増設については



北初富ほほえみ公園

## 産業用地検討（適地・可能性）調査委託について

勝又 勝 議員

本業務の概要を伺います。

令和8年3月に策定した土地利用方針を基に市内全域を対象に、昨今の社会経済の動向や地域特性から産業用地の適地を選定し、産業用地を確保するための整備計画を作成の上、事業化に向けて検討するものです。

産業用地の確保に向けて今後どのように取り組めますか。

短期、中期、長期の視点に立つて対応する必要があると考えており、短期は比較的小規模で権利者数も少ない土地を確保していきます。また



## 身体、知的、精神の障がいに対応する障がい福祉サービスについて

葛山 繁隆 議員

鎌ヶ谷市身体障がい者福祉センターについて伺います。

同センターは身体障がい者の福祉の増進を図ることを目的として平成3年に設置した総合福祉保健センター内に設けられ、市内に住所を有する身体障がい者や市内の福祉団体等が使用できます。

障がい者雇用率の状況を伺います。

現在の法定雇用率は、民間企業が2.5%、国や地方公共

## 議場を見学しませんか

議会の仕組みなどを理解し、議会を身近に感じてもらうため、市内在住・在学の小中学生及び高校生を対象に議場見学を実施しています。

普段入ることのない議場の見学にぜひ、お越しください。保護者の方もご一緒できます。



議長席でかまたんが皆さんを待っています

## 熱中症・暑熱等の気候変動対策について

富田 信恵 議員

近年の猛暑や豪雨など、気候変動の影響が深刻化する中、国の気候変動適応法に基づき市の取組として、クーリングシェルターの充実、生活困窮者へのエアコン購入費用の助成、学校の暑熱対策等について伺います。

市では第3次環境基本計画に気候変動適応計画を位置

## 離子水公園の現状と今後について

河内 一朗 議員

令和4年度から再整備に向けた測量等を実施していますが、その成果と現状を伺います。

令和4年度に現況測量を実施し、令和5年度から6年度にかけて再整備基本計画を策定しました。現在は再整備

## 下水道事業の公営企業会計移行後の経営状況について

松原 美子 議員

公営企業会計へ移行した背景を伺います。

人口減少による料金収入の減少、施設や管路などの老朽化に伴う更新投資の増大が見込まれる状況を踏まえ、利益や損失の経営成績、資産や負債の財政状況を把握し、併

公営企業会計を継続する上での課題を伺います。

未普及地域の解消に加え施設の老朽化や耐震化の対策

## 福祉サービスの充実について

矢崎 悟 議員

総合福祉保健センター分館の整備後、既存の総合福祉保健センターの2階事務スペースの活用方針を伺います。

当該2階には障がい福祉課と高齢者支援課を配置し、専用窓口の設置や待合スペースの拡充など、利便性の向上

に繋げていきます。

複合的な課題やリスクを抱える方々への支援策として重層的な支援体制整備事業がありますが、千葉県内の自治体の実施状況と導入に対する市の見解を伺います。

令和7年度末時点で県内

いては、全教室へのエアコン設置を完了し、体育館についても令和10年度までに整備するとともに水道直結型ウォーターサーバーの設置も検討します。



公園の重要な要素である湧水池をはじめとする水と緑豊かな自然を保全すること。2つ目は自然に触れ合え、自然を学べる環境を整備すること。3つ目は道野辺第一貯留池としての機能も有していることから心安らぐ景観、安全・安心な生活環境を確保することを主な観点として進めていきます。

が課題です。そのため、未普及地域の計画的かつ効率的な整備や、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図るとともに、国の交付金制度の動向や下水道使用料の見直しなどを踏まえて、持続可能で安定した下水道事業の運営に取り組めます。

37市のうち、14市が実施しています。市では複雑化、複合化した課題に対しては各所属が連携して支援を実施していますが、今後は、関係機関と調整のうえ実施に向けて検討し、より一層、包括的できめ細かな支援に向けて取り組んでいきます。